

(令和6) 年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(22 梅津) 児 童 館

	活動名	実施回数	参 加 人 数											内 容	成 果 と 課 題
			乳幼児	小1～3年	小4～6年	中学生	大人	ボランティア			合計				
基	(1) 日常の自由あそび	随時											遊具を使ったあそび	遊具を使う場所を決め、安全面での配慮を行った。卓球をしに来る児童もいるので、臨機応変に遊び場所を設定した。	
	図書の貸出	随時	61	6	1			64				132	地域の方、乳幼児親子向け絵本や育児書、小学生が対象。マンガや図鑑は貸し出しはしていない。	行事後や乳幼児クラブ後の貸し出しが多かった。色々な本が借りられることで家でのコミュニケーションに繋がっている。乳幼児親子・小学生ともに貸出が増えている。	
	(2) あそびの教室														
	工作	9		10	23	10	1	2	1			47	夏の工作「ブンブンゴマ」、クリスマス工作「パステルツリー」、凧作り、「巳の豆色紙」	学童児童と一般児童をわけて実施。参加した児童は、作る楽しさを感じたり、達成感や季節感を感じてもらえたが、今年度は全体的に申し込みが少なかった。今は工作材料が手軽に手に入りやすくなったことともあるかもしれない。来年度は児童からの意見を収集したり、より興味を引くようなものの提案や、広報の方法を工夫したい。	
	こま月間、こま検定	9			42		7					49	こま検定の検定表をもとに、10級から1級まで、また段にも挑戦する	初めてする児童はひもの巻き方から教え、少しずつ回せるようになったり、毎日練習する児童もあり、日々の積み重ねが評価してもらえるいい機会になっている。また、学童休会中の児童も段の技を練習して検定を受けるために来館していた。その反面、回せるのに検定は受けに来ない子や苦手な子へのアプローチを大事にしたい。「検定をもっとやってほしい」という意見が多いため、来年度は検定日を増やしたい。	
	もしかめ記録会	3		9	48	1	4	1				63	もしかめが何回できるか挑戦。できた数によりご褒美シールが貼れる。	1年生や初心者の子も受けやすく、記録会があることで取り組むきっかけになっていた。また、日々の積み重ねが記録に残るため、児童のモチベーションアップにつながっている。当日の上位3名を貼り出したり、ご褒美シールも意欲につながった。学童児が多いものの、学童OBOGの小学生や中学生も受けに来たため、来年度は児童館事業で年間の回数を増やしたい。	
	(3) 行事活動														
	避難訓練	14		12	697	2	71					782	毎月、火事、地震、水害、不審者対策のテーマで実施。小学校や公園への避難方法や水害時に分室への避難方法を職員も含め確認する。また、梅津消防出張所の方に来ていただき、煙体験や車の見学や質疑応答など。	4つのテーマに沿って、繰り返し学習したり、実際に避難することで、職員も子どもも意識が高まり、身につけている。(児童館・分室にて実施)年間を通して計画を立て、今後も継続して行うことで、いざというときに児童も職員も落ち着いて速やかに的確な行動ができるようにしたい。また、今年度も消防署の方に来ていただき、煙体験や消防車の見学を通して、普段できない経験や知識を深める機会となった。	
	児童館探検	2	1	2	5				1				9	児童館の行事・あそび・小学生クラブの紹介、カブラ	今年度は平日2回に分けて実施。児童館自体を知る日とカブラで遊ぶ日に分けたが、参加者は少なかった。ただ、カブラの日は、学童児や参加者の弟や母も一緒に参加があったため、賑わっていた。
	オセロ・将棋週間	10		2	210	3	10						225	対戦カードを準備し、対戦した回数や勝敗でシールを貼る	館内オセロ・将棋大会とあそび交流会に向けて、また1年生には遊び方を教える。また、色んな人と交流できるようにカードを用意したり、シールは貼れることは意欲に繋がっていた。
館内オセロ・将棋大会	1	3	4	18	3	4			5			37	申込制による、オセロ大会・将棋大会	オセロはブロックに分けてトーナメント戦をし、各ブロック優勝者がリーグ戦で戦う。将棋は総当たり戦で行った。オセロ・将棋週間の間にルールも徹底したため、試合中に困るようなこともなく日ごろの成果を発揮することができた。優勝者は賞状がもらえ、自信につながっていた。	
チャレンジパーク実行委員会	4				26	6	3					35	テーマ決め、コーナー準備、当日のお手伝い	昨年度参加者のアンケート結果を参考にテーマを決める。事前準備として各コーナーの看板や必要なものを作る。当日は準備したコーナーを担当し、コーナーに来た乳幼児や小学生への対応を上手にしていた。	
クリスマス会実行委員会	3				8	9	3					20	内容の決定後役割分担を行い、各コーナーの準備やハンドベル演奏の練習を実施。	子どもたちがやりたい内容を参考に、その中から実施可能で参加者が楽しめるようなものをプログラムとして決定。当日の進行の役割分担をし、ハンドベルの練習など全員が活躍できる場を用意した。昨年度より回数を増やしたため、余裕を持って練習し、当日を迎えることができた。	

子ども育成品能	本活動	クリスマス会	1	1	4	30	7	4	2	1		1	4	54	高学年実行委員による司会進行とハンドベル演奏、もみじ文庫さんによる読み聞かせ、大学生によるクラリネット演奏、ゲーム大会、プレゼント	高学年児童が主体として内容を考え実施。参加した子ども達は、出し物をみたり、みんなでゲームをして楽しい時間になっていた。また、地域の方がよみきかせや生演奏をして下さり、いつもと違う雰囲気集中して見たり聞いたりしていた。季節を感じられる機会となっており、子ども達は毎年楽しみにしているようだ。
		親子で伝統工芸体験	1	4	9	7	8	1	1	13			6	49	京漆器の丸盆作り	伝統工芸士の方に来ていただき、親子で丸盆を作る。高学年の参加も多く、普段できないような体験を親子ですべて喜んでおられた。また、完成品とともに親子で写真を撮って渡したのもいい記念になってよかった。
		(4) クラブ活動 高学年クラブ Umeっこクラブ	13				109	20	14					143	工作（レジンアクセサリー、スライム、スクイーズ、羊毛フェルト、編み物、クリスマス工作、ちぎり絵、キャンドル作り、アルバム作り）、ドッジビー、おでかけ「スイーツパラダイス」毎月土曜日1回	職員が補助しつつ、毎月自分達がやりたい企画を実行することができた。また、工作だけでなくドッジビーでは、審判やチーム分け等も自分たちで進行し、盛り上がっていた。さらに、全員の希望によりバスに乗っておでかけも実施したが、しっかり交通マナーを守り、今年度は中学生も登録していたため中学生が先導し、まとめてくれていた。
		あそぶンジャークラブ	12		8	43	9							60	集団ゲーム、工作、カードゲーム等様々なあそびを体験する。毎月土曜日1回	様々なあそびが展開できた。また、子ども達のやりたいことも取り入れてあそぶことができてよかった。
		将棋クラブ	12		30	49		6						85	メンバー同士で本将棋を対戦し合う。毎月木曜日(1回)	曜日を変更したことで出席率が安定した。また、初心者も年間を通して経験者と対局できるくらいの上達が見えてよかった。対局のみであったので、具体的な戦術やコツを伝えることができず、職員の研鑽か外部からの講師の検討も必要。
		ドッジボールクラブ	12		11	185	11	5						212	ブロックのドッジボール交流会に向けて、小学校の運動場や体育館を借りて1月より毎週木曜日に実施。ボールの投げ方、ルールの確認、試合をする。	今年度から発足したため、挨拶やルールを徹底する。大会が近づくにつれ試合への意識も高まり、チームとしての声掛けや仲間意識が向上していた。直前には3年生や高学年の有志と試合することで、本番に近い緊張感を感じたり、勝つことで自信にもつながった。
		きりえクラブ	22		44	83	11	22	5					165	難易度順に10～1級を設定、3枚～5枚上手にできたら昇級。チャレンジパークや地域の郵便局に掲示	毎回のきりえを楽しみに申し込みしてくれている子がおり、メンバーは定着しつつあり、きりえをしている時間は集中して実施できている。「チャレンジパーク」にて体育館に掲示したり、今年度も地域の郵便局に1か月にわたり掲示してもらい、保護者や地域の人から好評だそう。
		(5) 地域交流促進活動														
		梅童クラブ(母親クラブ)	42							308				308	毎週水曜日。地域の母親が卓球を練習しに集まる。	参加者の方が高齢になってきているので、体調等が心配であるが、汗をかくほど毎度楽しんでおられる。年末にはいつも児童館の大掃除をしてくださり、助かっている。また、今年度は「卓球教室」を再開し、小学生に熱心に教えてくださった。
		手話クラブ	15		8	81	37	11					34	171	さくらんぼサークルの方に来ていただき、活動している。毎月第1月曜日	指文字や手話うたを覚えたり、習った手話でクイズを出し合ったり、楽しく学んだ。継続登録の人と新規の人のレベルの差をどうしていくのが課題。
		園芸クラブ	22			150	1	9						160	児童館の畑で花や野菜を育て収穫。また、弦を使ってクリスマスリース作りをする。母親クラブの方が畑の助言をしてくださっている。毎月第1、3火曜日	苗植えや水やり、作物の収穫を行う。やはり収穫がとても嬉しいようだった。年間計画に基づいて、植物の適期を逃さないように活動できた。来年度は、クラブではなく、適宜やりたい人を募って活動する予定。
		大学生とあそぼう	2		1	79								80	大学生が作った絵本の読み聞かせやゲームで大学生との時間を過ごす。	今年度も京都外国語大学のサークルと連携し、サークル活動の一環として自作の絵本をスライド上映して読んでもらったり、一緒にゲームをしたりすることは日頃接点のない大学生のお姉さんたちとのいい交流になった。児童館の行事のボランティアとしても関わってくれているため、お互いに顔を覚えている子もいるようだ。
		交通安全教室	1			65		5					1	71	交通安全推進委員会の方に来ていただき、自転車や横断歩道等ルールを指導していただく。	参加者を4グループに分け、4か所のコーナーを回り、交通安全推進会の方が用意してくださった資料などを基に学習する。自転車安全利用、横断歩道、交通標識、事故対策などについて学び、子どもたちの交通安全に対する意識付けとなった。また、地域団体との連携ができたこともよかった。
		(6) 障害のある児童の居場所づくり	随時												それぞれが楽しく遊びやすい環境を作ったり、他の子どもたちと楽しく遊べるよう援助する。	子どもたちそれぞれの過ごし方に合わせて、遊びを提供したり他の友だちの遊びに入れるように配慮する。

	(7) 思春期児童の活動 支援 中高生タイム	76						225					225	平日の17時以降と、月に2回土曜日の17時以降を中高生の居場所作りとして、卓球やカードゲーム等ができるように設定	中高生タイム以外の日程で児童館を利用することが多かった。学童0Bの児童が同じ部活の子を連れてきたり等で利用が増えた。遊べる場所として認識は得たが、今後は自己実現の場としても意識してもらえるようにしたい。
推進活動	合 計		70	160	1816	246	195	256	393	0	1	45	3182		
	(10) 移動児童館活動 あおぞら児童館	1	20	13	38	3	6		25	3	4	13	125	構口公園で実施。、いろいろなあそびや七夕工作を行い、児童館を広く知ってもらう。乳幼児のほっこりスペースやおたのしみタイムも実施。	梅津まちづくり委員会や大学生、中学生、民生委員さんの協力を得てコーナー展開を行った。家族での参加もあり、児童館の活動をたくさんの方に知ってもらいきっかけになった。最後は全員で「ジャンケン列車」をして一体感が出た。暑かったため、終了後はアクエリアスをコップに入れて配った。
	合 計		20	13	38	3	6	0	25	3	4	13	125		
	子ども育成機能合計		90	173	1854	249	201	256	418	3	5	58	3307		

* 注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

(令和6) 年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書 (22 梅津) 児 童 館

		活動名	実施回数	参 加 人 数										内 容	成 果 と 課 題
				乳幼児	小1～3年 自由来館	小4～6年 学童クラブ	小4～6年 自由来館	小4～6年 学童クラブ	中学生	大人	ボランティア 中学生	ボランティア 大学生	ボランティア 大人		
子 ど も 家 庭 支 援	基 本 活 動	(1) 乳幼児とその保護者を対象とする活動 ①乳幼児クラブ活動 乳幼児クラブ 「ぶたさんクラブ」	33	208						206		4		418	対象：1歳半以上 手遊び、読み聞かせ、体操、季節のあそびや工作、ふれあいあそび、工作、公園や梅津消防出張所におでかけなど。 ごっこあそびや体を使ってあそぶ内容、季節の工作など、家庭ではなかなか出来ない活動が好評だった。また、年間を通して落ち着いて工作できるようになったり、3歳前後になるとあそびの中で子ども達同士のやりとりができるようになり、温かい雰囲気でも過ごすことができていた。また、乳児の時から登録していた親子も、今年度から登録した親子も、終了する頃には母同士も気さくに話ができるようになっていてよかった。
		乳児クラブ 「ねこさんクラブ」	35	201						201		4	2	408	対象：10ヶ月～2歳 手遊び、読み聞かせ、体操、季節のあそびや工作、公園遊び、大型遊具遊びなど。 毎年ではあるが、学年が2学年にまたがり月齢差があったものの、親子単位で遊んだり、体を使って遊ぶ活動を多く取り入れたため、のびのび遊べた。父の参加もあったが違和感なく、保護者同士の関係が深まり、我が子だけでなく、全体で子育てを喜び合う雰囲気ができており良かった。
		乳児クラブ 「ひよこさんクラブ」	36	154						152		4		310	対象：～1歳、マタニティの母親 手遊び、読み聞かせ、ふれあいあそび、季節のあそびや工作、すくすくカード作りなど 年度当初は昨年度から引き続きの親子や、後期からは新規の親子の登録が多く、年間通して一定の登録人数があった。気さくな母が多く、保護者同士の関わりも多く、1年を通して大きく成長する姿をお互いに喜び合うことができた。
		②乳幼児の広場活動 あそびのひろば	30	182				2		181			1	366	自由参加のひろば。大型遊具等のおもちゃ遊び。最後は、手あそびや読み聞かせ、カード返しをする。親子のふれあい、いろいろな年齢層の親子の交流とする。 乳幼児親子がおもちゃで遊んだり、ほっとひといきつける居場所の提供をしている。
		子育てほっと広場	随時	117	16	2		1		117				253	クラブがない水曜日の午前中や平日の5時以降、また特に土曜日に「あそび場」として定着して遊びにくる親子が多かった。父や兄弟、祖母等家族での参加もあり、家族のあそび場としてののびのびとあそんでいる姿がみられた。
		ランチタイム	平日 水曜以外	52						52				104	12時～1時の1時間、図書室をお弁当を食べる場所として提供 乳幼児の保護者からの要望があり、5月から実施。クラブ後にお弁当を持って来て食べながら交流していた。だが、よく利用している親子がいなくなると一緒に利用していた親子も利用しなくなり、後半利用者はほぼいなかった。来年度はもう少し広報に力を入れたい。
		(2) 家族参加を促す活動 幼児クラブ運動会	1	7						8				15	父や姉の参加もあり、賑やかになった。天候にも恵まれ、子ども達は広い場所で体を動かすことができ楽しんでいてよかった。
		幼児クラブ 「消防出張所へおでかけ」	1	11						12				23	ぶたさん・ねこさん合同で実施。いつもと違う場所のため、少し緊張している子もいたが、救助車の道具を見せてもらったり、防火服を着たり、消防車に乗せてもらったことで徐々に緊張もやわらいでいた。消防士の訓練では熱心に見ている親子が多く、普段できない経験ができ、親子ともに楽しんでおり、好評だった。毎年父の参加がある。
		児童館であ・そ・ぼ	4	12		16				12				40	8月の夏休み期間の午前中4回 図書室を乳幼児親子専用として開放 自由あそび（おもちゃ、絵本、育児相談） 最後は学童児有志から手あそびや読み聞かせの交流 夏休み期間に乳幼児の居場所作りとして実施。涼しい部屋で遊具で遊んだり、絵本を見たり、各々有意義に過ごしていた。来館時にアンケートにて小学生との交流について尋ねると自由あそび後の交流希望が多かったため、最後の15分間で実施。母達もその姿を見て、子育ての見通しになったようでよかった。

活 動	移動動物園	1	23	30							7	60	ボニー動物園に来ていただき、乳幼児親子や児童館近隣の方が動物と触れ合う。 協力：民生児童委員協議会	いろんな動物と触れ合うことができて、親子で楽しめたようであった。2・3年連続で参加している親子もあり、子の成長を感じる機会にもなっている。父や祖母、保育園児の兄弟姉妹も参加。また、地域住民の方にもチラシにて案内し、4組の参加があった。来年も開催の希望をする保護者が多い。			
	乳幼児親子「ファミリーデー」	1	5	1	5	1	1		5			18	手あそび、エプロンシアター、リトミックスカーフあそび、工作、楽器あそび	父や兄弟姉妹も参加。体を動かしてあそぶことが多かったため乳幼児・小学生・保護者も全員で楽しんでいた。また、学童クラブ児童有志による手あそび披露や工作の補助もしてもらうことで、乳幼児親子と小学生がたくさん交流し、お互いを知れるいい機会になった。			
	合 計		972						946	3	10	2015					
	(3)子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路						件数	相 談 内 容	件数	つないだ機関等		件数		
		乳児 幼児 小1～3年（自由来館） 小1～3年（学童） 小4～6年（自由来館） 小4～6年（学童） 中学生 高校生	36 7 2 18 2 1	児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 子ども支援センター 主任児童委員 その他 { 保育所 }						66	健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他 { 学童クラブの提出書類について } { 乳幼児クラブについて等 }	15 4 20 7 2 24	児童相談所 保健所 子ども支援センター 幼稚園・保育園 小学校 中学校 総合支援学校 その他 { }				
		件数 計	66	—						66	—	72	—		0		
		(4)子育てグループを育成・支援する活動	グループ名	構成人数	活 動 内 容						育 成 ・ 支 援 内 容			成 果 と 課 題			
	(5)子育てと健全育成に関する啓発活動	活動名	実施回数	活 動 内 容											成 果 と 課 題		
		地域子育て支援ステーション事業	3	普段児童館で行っていることを公園や体育館で実施したり、子育てのヒントになる分野の専門家を講師に招き講演をしていただく。また、普段体験できないような内容も実施する。（移動動物園、あおぞら児童館、梅津チャレンジパーク）											定員を設け、申込み制で実施。児童館を利用している親子を中心に楽しんでもらえた。イベントをきっかけに乳幼児クラブに登録する親子もいた。今後もアンケートや利用者の声を参考にし、実施していきたい。		
	子育てエール	2	講師を呼び、親子の絆を深める。また、子育ての不安の解消に役立てる。（ベビーマッサージ、家族で絵本を楽しもう）											家ではなかなかできないことを講師より教えてもらうことで、親子のスキンシップの方法を知れた。また、母だけでなく、父や祖父の参加もあり、各々家で役立てることができ、好評だった。終了後、講師の方より子育て相談の時間があったことで、保護者の子育て不安解消にもなり有意義な時間になってよかったという意見もあった。			

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動〔①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動〕(2)家族参加を促す活動に分類して記入すること。

(令和6) 年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(22 梅津) 児 童 館

<様式10-3>

			活 動 名	実施回数	主 催	参 加 人 数							連携団体	成果と課題				
						乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人			合計			
							自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ								
			うめづチャレンジパーク	1	児童館	35	11	41	17	4		62	170	梅津小学校、学童クラブ保護者、梅津まちづくり委員会、梅津民生児童委員協議会等	午前・午後の2部制。各部開始前は体育館のステージで、ジャグリングショー、乳幼児体操、ギターの弾き語り、小学生による発表等を行う。今年度は、ゲームや工作コーナー以外にも新たに地域PRコーナーを設置し、子どもたちや地域の方に地域団体のことを知っていただくいい機会になった。また、その後の地域団体との連携にもつながった。当日は、乳幼児親子や小学生、地域の方々などたくさんの人で活気に溢れ、各々のコーナーを楽しんで参加してくれた。			
			子育てサロン	3	民生児童委員 児童館	26						30	56	民生児童委員	日頃から児童館を利用している親子以外にも、初めて来館する親子もいた。また、父や祖母の参加もあり、地域の方との交流の場となった。「トーンチャイム」では、地域の大人の方だけの参加もあり、地域の児童館として根付いてほしい。今後も主任児童委員や民生委員の方々との連携を図り、行っていきたい。			
			人形劇団「むむのこ」	1	民生児童委員 児童館	10	4	20	1	1		17	53	民生児童委員	1枚の紙を折りたたんだものを使った劇が2つと、人形を使った劇が1つ。楽しいお話と演技力で、子どもも大人も劇に引き込まれ、皆熱心に見ていた。笑い声もたくさん聞かれた。大人の方の参加もあり、異世代交流の場にもなった。今後も地域の方が気軽に利用できる施設としての児童館でありたい。			
			運営協力会	2	児童館							23	23	各地域団体	各団体の活動や児童館での活動を報告し合い共有することで、理解を深める機会になった。			
			ステーション会議	2	児童館							13	13	梅津民生児童委員協議会、富士保育園、照偶認定こども園	お互いの施設の紹介や情報共有ができた。また、保育士による実技研修では、今後の活動の中で活かすことができるため、大変参考になった。			
			卓球教室	1	児童館		1	11	2	3			17	母親卓球「梅童クラブ」	日頃、児童館で活動されている梅童クラブの方が、申込みした児童を対象に卓球の指導や相手をしてくださった。ラケットの持ち方や打ち方など、丁寧に教えてくださった。来年度も梅童クラブの方と相談しながら継続していきたい。			
			ジャグリング教室	3	児童館	1	3	24	5	5		2	40	石川氏	あおぞらじどうかんやうめづチャレンジパークでジャグリング体験が人気だったことから、地域の方の協力を得て教室を実施。来年度はクラブとして月1回活動する。			
			合 計		—	71	15	61	18	5	0	145	315					
						(2) ボランティア活動の促進			活 動 内 容		活 動 人 数				成 果 と 課 題			
											中高生	大学生	大人	合 計				
移動動物園											7	7	どの方も子どもたちにあたたかく関わって下さっている。地域のボランティアさんと子どもたちの関わりが増えることは、地域に保護者や児童館職員以外の子どもたちを見守る大人の目が増えることにつながっている。今後も担当者との連携を継続していきたい。					
手話クラブの指導											34	34						
ジャグリング教室		1									3	4						
卓球教室											5	5						
大掃除手伝い											11	11						
人形劇団「むむのこ」											13	13						
チャレンジパークの手伝い		5								2	23	30						
あおぞら児童館の手伝い		3							7	13	23	23						
合 計		9	9	109	127	127												
			連 携 団 体 等	連 携 内 容	成 果 と 課 題													
					梅津学区社会福祉協議会 敬老の日に向けて子どもたちがプレゼントを制作し、届けていただく。 独居老人とのクリスマス交流会。													
					母親卓球「梅童クラブ」 卓球教室の指導 児童館の大掃除のお手伝い。 毎週水曜日に活動。													
					手話サークル「さくらんぼ」 月1回手話クラブの指導をしていた。ゲーム等も取り入れ、楽しみながらの活動を提供して下さっている。													
					成 果 と 課 題													
					梅津の独居老人の方にメッセージカードと干支の豆色紙をプレゼント。下校時に挨拶をし合ったりでし、見守りボランティアにつながっている。クリスマス会では、子ども達の出し物を見てもらったり、昼食を一緒にいただいたり、楽しい交流ができています。													
					今年度は、中断していた卓球教室を再開し、指導してくださった。年末には館内の大掃除をして下さったり、畑のアドバイスもしてくださっている。													
					身近な会話やあそびを通した指導など子どもたちにも親しみやすい工夫をしてくださり、子どもたちも楽しんでいった。今年度も教えていただいた手話歌を「チャレンジパーク」で発表し、ステージを見に来て下さるなど子ども達へ真摯に向き合ってくださっている。													

進 機 能	活 動	(3)地域との連携を促進する活動	石川氏(ジョー)	ジャグリング教室の講師として、子どもたちに指導してくださった。	子どもたちの興味・関心に即した活動内容で、技能の向上や達成感につながった。
			梅津民生主任児童委員	子育てエールなどにボランティアで参加していただいたり、2ヶ月に1回子育てサロンを開催。昨年に続き、人形劇団「むむのこ」も実施。ステーション会議・研修に参加。	地域の子育て家庭の状況について情報交換や、心配な家庭の情報共有をしている。また、子育てエールや子育てサロンなどで児童館の利用者に声掛けなどをしてくださっている。昨年度「モデル民協」として実施して好評だった人形劇団「むむのこ」を今年も実施。たくさんの参加があり、異世代交流もできた。
			見守り隊	学童児の帰り道に見守っていただく。	子どもたちが安全に安心して帰宅できる。今後も連携を大切にしたい。
			右京子ども支援センター	子育て家庭支援に関する行事の日程を連絡・ステーション会議への出席	単発の行事についてはセンター発行の情報紙を見て来館される親子もいる。今後も会議などで情報交換・共有し連携を図っていきたい。
			梅津少年補導	少補主催の行事への参加・協力。凧揚げ大会など	凧揚げ大会の実施があり、梅津児童館も参加。大凧に絵を描き、子ども達の手形を押したり、当日は子どもたちや保護者に大凧を引いてもらったりし、交流を再開できた。
			梅津小学校	おたよりの配布依頼、学童クラブ児童に関する情報共有・備品借用など	子どもたちの様子などについて情報共有している。また運動場や体育館を使用させていただいたことで活動の幅が広がっている。
			梅津中学校	児童館行事の中学生ボランティア募集のポスター掲示、生き方探求チャレンジ体験の受け入れ	児童館行事に、中学生ボランティアとして当日数名の中学生が参加。また、チャレンジ体験では4人を受け入れる。小学生や乳幼児、地域の方との関わり、双方に良い経験ができています。
			NPO法人セカンドハーベスト京都	京都市児童館学童連盟を通して、フードドライブに協力	普段児童館を利用している乳幼児や学童クラブの親子や、地域の方より寄付があり、たくさん集まった。
			照隅認定こども園	ステーション会議・研修。「園庭開放」に参加。	地域の子育て中の親子や出身園の学童児について情報交換・共有をする。また、出身園の学童児が増えており、配慮が必要な児童もいるため、今後も連携を大切にしたい。また、園で開催されている「園庭開放」について、普段児童館を利用している乳幼児親子に参加を呼びかけ、一緒に参加。とても喜んでおられた。
			富士保育園	ステーション会議・研修。	地域の子育て中の親子や出身園の学童児について情報交換・共有をする。出身園の学童児が多く、配慮が必要な児童もいるため、今後も連携を大切にしたい。
			学童クラブ保護者会	チャレンジパークなど児童館事業への協力。	チャレンジパークへは各コーナーの手伝いをしてもらい助かっている。地域の人や子ども達との交流の場となっている。長期休業中(年6回)の「お弁当いらないデー」としてお弁当の調達。子ども達、保護者、両面より喜ばれている。
			えほん館	地域子育て支援ステーションで講師派遣	児童館に理解を持ち、毎年子育てエールで絵本の素晴らしさを子育て家庭の保護者にお話してくださっている。
			構口愛護協力会	公園の環境維持に協力	「あおぞら児童館&七夕会」や幼児クラブの「運動会」・「公園遊び」の時に協力していただき、助かっている。
			梅津まちづくり委員会	まちづくり主催の「七夕会」「川あそび」「わんぱく冬まつり」に児童館も協力。児童館主催の「チャレンジパーク」に協力をいただいた	「川遊び」や「冬まつり」では、当日職員が手伝いに参加。「七夕会」では、たくさんの参加者があり、楽しんでいた。また、「うめづチャレンジパーク」ではあそびコーナーや子ども達の誘導等に協力していただき、子どもたちを安全に楽しませてくれた。
			梅津民生児童委員協議会	児童館主催の「移動動物園」「あおぞら児童館」「うめづチャレンジパーク」等に協力。	児童館行事のスタッフとしてお手伝いしてもらい助かっている。乳幼児親子や小学生が安全・安心に楽しめ、また交流の場になっている。
			右京消防署・梅津出張所	避難訓練の指導・乳幼児クラブで出張所へ見学	小学生には、火災時(煙の中)の避難を実際に体験したり、救助車の説明などを分かりやすく指導して下さった。また、乳幼児クラブとして訪問させてもらい、防火服の着用体験や消防車の乗車体験等、普段なかなかできない体験が好評だった。
			もみじ文庫	クリスマス会での読み聞かせ、クラリネットやピアノの演奏	クリスマス会に、絵本をプロジェクターに写して子ども達に読み聞かせをして下さった。また、大学生がクラリネットやピアノの生演奏してくださり、楽器の音色に触れる貴重な体験になっている。
			右京こどもはぐくみ室	乳幼児健診への職員派遣	検診の待ち時間に児童館の紹介等をする。
			第5ブロックの児童館 西京極・太秦・御室・山ノ内・安井・向上社・常磐野・嵯峨・嵯峨野・嵯峨広沢・葛野・梅津北・うたのひこばえ・西京極西	ブロックまつり、ドッジボール交流会、あそび交流会などブロック交流行事 サンサにこにこ広場、イオン子育てほっと広場への参加	同じ右京区内の職員と連携することで、自館だけでなく右京区全体で乳幼児親子や子ども達を支えることの重要性を再確認できた。また他館の児童と交流することで、いい刺激になっている。今後も情報交換や連携を大切に、地域貢献していきたい。

(令和6) 年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(22 梅津) 児 童 館

<様式10-4>

地 域 福 祉 社	基 本 活 動		組 織 名 称		構 成 団 体 ・ 個 人		会 議 ／ 取 組 頻 度		議 題 ／ 取 組 内 容		成 果 と 課 題		
		(4) 児童館を支える地域 組織作り	梅津児童館運営協力会		梅津社会福祉協議会 右京少年補導委員会梅津支部 梅津民生児童委員協議会 梅津児童館学童クラブ保護者会 梅津児童館 梅津小学校 梅津小学校 P T A 梅津学区交通安全推進会 梅津まちづくり委員会 梅津自治会連合会 梅津地域女性会 梅津中学校		2回		各種団体の事業・取組 児童館の年間計画 大型行事について 児童館、各団体の活動報 告 次年度に向けて		2回(6月・2月) 児童館にて実施。各々 の団体の顔合わせと活動報告をし たり、児童館での活動を報告するこ とで、理解を深める機会になった。		
			梅津地域ステーション		梅津民生児童委員協議会 照隅認定こども園 富士保育園		2回		情報交換 研修 地域課題への話し合い		2回(9月・2月) 児童館にて実施。地域 の特色の共通認識が得られた。また、 研修では手あそびや絵本の読み聞かせ について教えていただき、今後の活動 に活かせる内容だった。今後も児童 館、保育園、民生児童委員協議会の三 者の連携を図っていきたい。		
促 進 機 能	推 進 活 動		会 場 提 供 ・ 備 品 貸 出 等			使 用 目 的		提 供 先 (団 体 ・ 機 関 等)			成 果 と 課 題		
			会場提供				会議等		学童クラブ保護者会 町内自治会 地域			会議に関わることで担当者との連携がしっかりとでき ている。今後も関係を継続していきたい。	
			備品貸出										
		(6) 地域調査活動		調 査 名	調 査 目 的	調 査 対 象	調 査 主 体		調 査 方 法		成 果 と 課 題		
			乳幼児クラブアンケート	今後の活動の参考のため 保護者の要望把握のため	乳幼児クラブ保護者	梅津児童館		無記名アンケート		来年度への課題や利用者の要望等を知る事ができ、運 営についての改善に役立てる。			
			ステーション事業アンケート	今後の活動の参考のため 保護者の要望把握のため	ステーション事業の参加者	梅津児童館		無記名アンケート					
			学童クラブ夏休み保育アンケート	今後の活動の参考のため 保護者の要望把握のため	学童クラブ保護者	梅津児童館		無記名アンケート		親への意識調査およびニーズの把握のため。			
			児童館利用者共通アンケート	児童館の評価や改善点の 把握のため	児童館利用者	京都市社会福祉協議会		無記名アンケート		児童館の改善、向上に役立てる。			
子どもの居場所や過ごし方 等に関するアンケート	「居場所」や「過ごし 方」を知るため	児童館や学童保育所に通っ ている児童	京都市役所		無記名アンケート		「居場所（ここにいたい、ここが楽しい）」と思う場 所や、どんな場所があったらいいかについて知ること ができた。						

(令和6) 年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(22 梅津) 児 童 館

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活 動	児童館だより（小学生・中高生版）	毎月1回	梅津小学校	全世帯分印刷、クラス毎に配布してもらおう。	月の行事予定 活動報告	館内掲示や小学校全世帯配布で広報することによって行事や取組みの利用拡大につながっている。また、小学校の全クラスに配布してもらうことで、小学校との繋がりもできている。
			児童館来館者	来館者が自由に持ち帰れるよう、玄関脇に常備。館内に掲示。		
			右京ブロック児童館	会議、研修の機会を利用しておたよりを交換。		
	児童館だより（乳幼児親子版）	毎月1回	梅津学区各町内	自治会連合会にて配布または職員が各町内会長宅に届け、各町内での掲示をお願いする。	月の行事予定 活動報告	来館された乳幼児親子は、来館時にもらってかえることが多く、おたよりをみながら案内したり等、継続的な利用につながっている。また、地域に掲示・配布することで地域の方とのつながりができている。
			児童館乳幼児クラブ	クラブ参加者に配付。		
			児童館来館者	来館者が自由に持ち帰れるよう、玄関脇に常備。館内に掲示。		
			右京子ども支援センター 右京保健センター 来所者	センターの方を通して来所者に配布していただく。		
			右京ブロック児童館	会議、研修の機会を利用しておたよりを交換。		
	地域子育て支援ステーション事業のチラシ	行事の1か月前から	乳幼児クラブ・ひろば参加者 児童館来館者・照隅認定こども園 児・富士保育園児	乳幼児クラブ参加者に配付。 おたよりにも掲載。館内に掲示。 児童館の玄関脇に常備。 こども園や保育園にポスター掲示	チャレンジパーク・ あおぞら児童館・移動動物園・絵本の読み聞かせの宣伝	声かけやホームページなどでも広報し、内容についても参加者のニーズを拾い上げ参加したいと思えるように工夫した。
	子育てサロンのチラシ配布の協力	行事の1か月前から	乳幼児クラブ・ひろば参加者 児童館来館者	乳幼児クラブ参加者に配布。 おたよりにも印刷。館内に掲示。 児童館の玄関脇に常備。	子育てサロンの宣伝	梅津北児童館と会場を交互にして開催しているため、梅津学区以外の利用者の参加もある。
	よりみち	年1回	右京の乳幼児親子	右京各児童館にて配布。 右京の行事の際に配布。	右京の各児童館における乳幼児親子対象の取り組みの紹介	自館や他児童館の利用につながっている。
	ホームページ	毎月1回	一般市民	インターネット	行事の案内、おたよりの閲覧、学童クラブ関係書類の添付	気軽にパソコンやスマートフォンから閲覧できることで、利用につながっている。
	掲示板	毎月1回	一般市民	掲示	各月の行事の案内、ポスター・おたより掲示	児童館の前を通りがかった人が見て下さっている。